

ダムの防災操作（洪水調節）による効果のお知らせ

令和8年9月15日
土木建築部河川課

令和8年9月4日の台風第24号の影響による降雨で大分県が管理する下記の1ダムにおいて、洪水の一部をダムに貯留すること（洪水調節）で、下流河川の水位を低減させたことについてお知らせします。

記

1. 防災操作（洪水調節）実施ダム

ダム名	所在地	河川名	防災操作日時	
			開始	終了
① 北川ダム	佐伯市宇目	一級河川 五ヶ瀬川水系北川	9月4日 14:24	9月4日 16:27

※防災操作（洪水調節）：ダムに流れ込む水を一時的に貯留し、下流河川の水量を抑え、水位上昇を抑制すること。

2. 防災操作（洪水調節）の概要と効果

①北川ダム

○最大流入量 212.3m³/s のうち 188.0m³/s をダムに貯め、下流へは 24.3m³/s を放流しました。

○上記操作により、下流河川（熊田橋地点）において、河川水位を約 0.9m 低減させました。

【問い合わせ先】

河川課 ダム・海岸班

田川・小森・山本

【電話】097-506-4595(直通)



令和8年9月4日の台風第24号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

令和8年9月4日

【速報推計】

台風24号の接近に伴い、9月1日8時から雨が降り始め4日14時までに累計205mmの降雨があり、4日14時24分には洪水量200m³/sに達し防災操作を開始しました。

その後も流入量は増加し、4日16時20分には最大の212.3m³/sに達しました。その時点でのダムからの放流量24.3m³/sで、ダムに流れこんだ水量の約89%にあたる、188.0m³/sをダムに貯めました。

その後、降雨及び流入量は減少し、4日16時27分には流入量が洪水量200m³/s以下に低下し防災操作を終了しました。

総雨量は降り始めの9月1日8時から9月4日23時までに242mmで、時間最大雨量は4日11時の22mmでした。

今回の防災操作により、下流河川(熊田橋地点)において、河川水位を約0.9m低減させたと推測しています。

※参考写真(過去ゲート放流時)



※今回はゲートからの放流はしていません。

問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

電話 (097)506-4595(直通)

大分県 芹川・北川ダム管理事務所 北川ダム管理支所

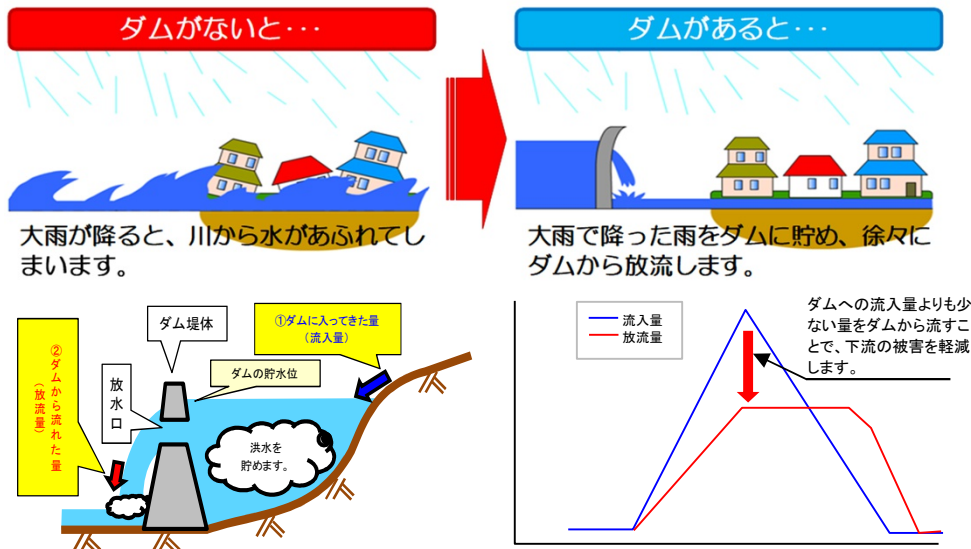
電話 (097)597-6890

令和8年9月4日の台風第24号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

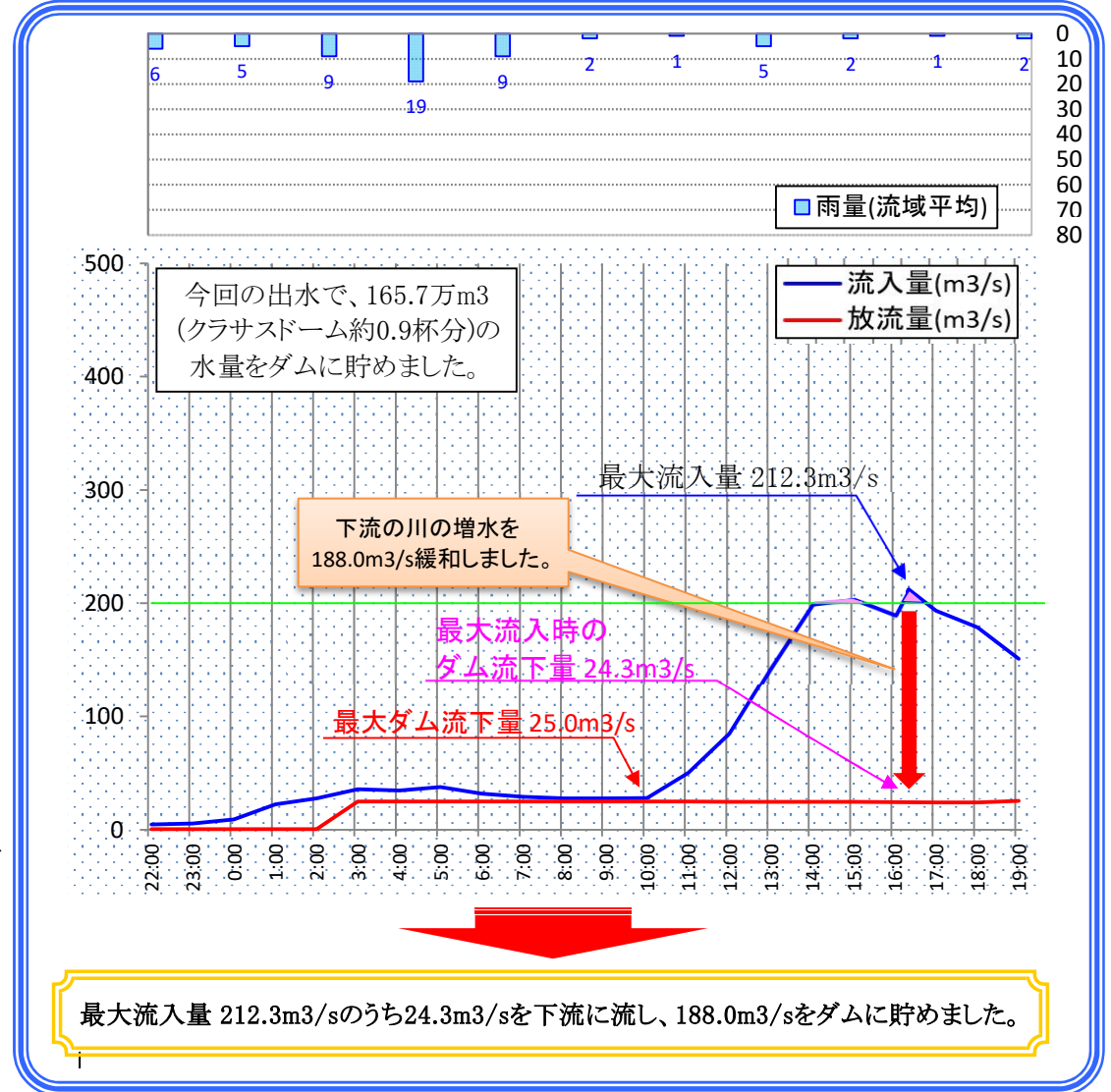
【北川ダム位置図】



【ダムの治水効果】

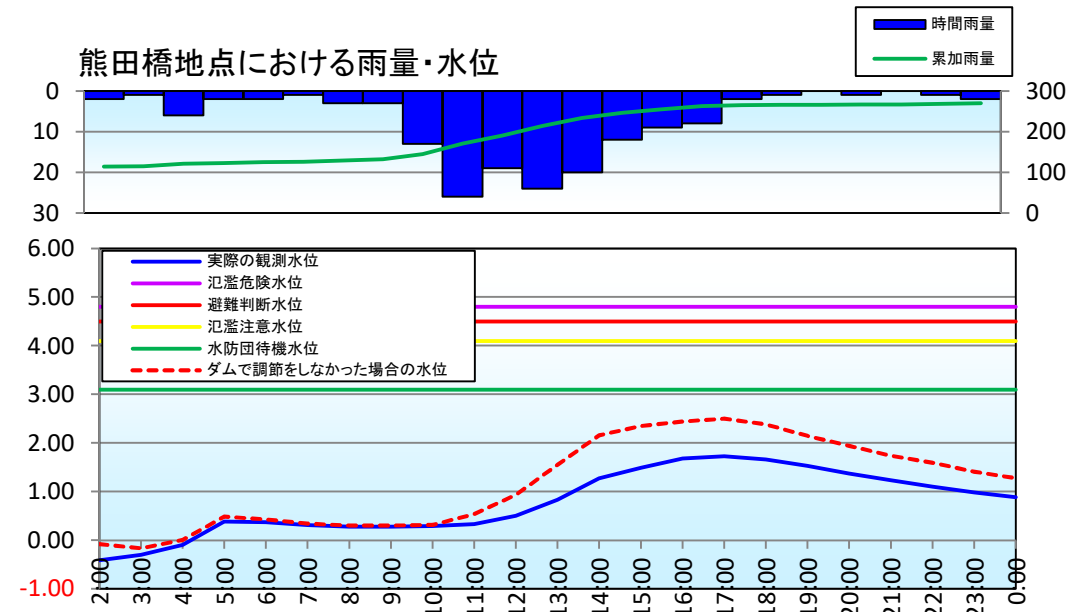
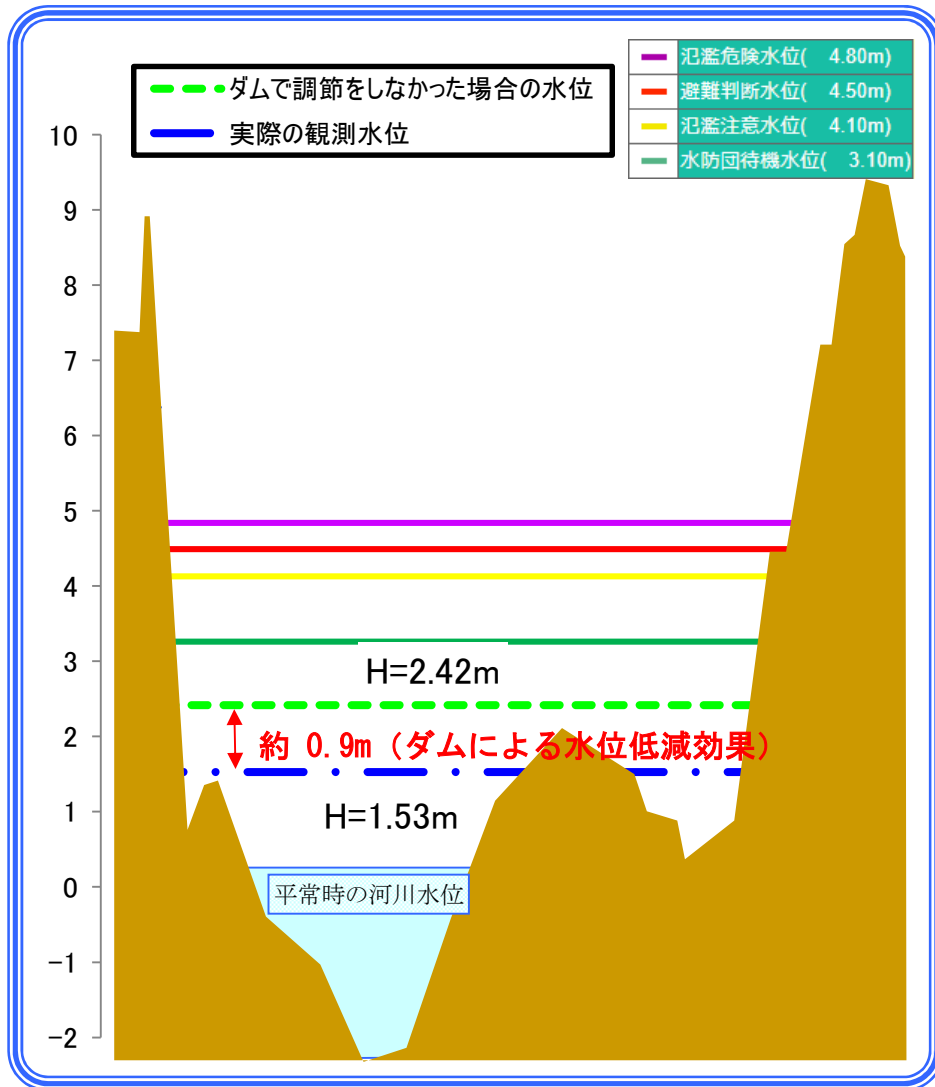


【防災操作実績図 (速報値)】



令和8年9月4日の台風第24号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

【 延岡市北川町 熊田橋地点(北川、小川合流点)の河川水位比較 】



(ダムで調節をしなかった場合の水位はおおよその推定です。)

